



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 大同メタル工業株式会社
コード番号 7245 URL <https://www.daidometal.com/jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 CEO兼COO (氏名) 判治 誠吾
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営企画ユニット長 (氏名) 岩倉 弘記
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名
TEL 052-205-1400

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	96,997	10.7	4,046	121.5	3,721	84.2	931	
2023年3月期第3四半期	87,596	15.1	1,826	55.2	2,020	48.9	2,375	

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 5,369百万円 (37.7%) 2023年3月期第3四半期 3,898百万円 (22.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	19.76	
2023年3月期第3四半期	50.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	185,822	75,080	35.1
2023年3月期	173,317	70,454	35.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 65,134百万円 2023年3月期 61,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		10.00		2.00	12.00
2024年3月期		2.00			
2024年3月期(予想)				8.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,000	10.8	4,700	66.4	4,200	44.3	1,200		25.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	47,520,253 株	2023年3月期	47,520,253 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	384,869 株	2023年3月期	411,152 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	47,131,733 株	2023年3月期3Q	46,889,873 株

(注)当社は、取締役及び執行役員向けに、信託を用いた業績連動型株式報酬制度を導入しております。当該信託に残存する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上、控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、TDnetで本日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ウクライナ情勢長期化に伴う原材料、エネルギー価格の高止まりなど、先行き不透明な状況が継続しております。一方、自動車業界では、半導体の供給不足が緩和され、自動車主要顧客の生産は回復が継続しております。

わが国経済においては、エネルギー価格などの高騰や物価上昇による先行き不透明な状況が継続しております。設備投資については生産活動の停滞を受けて、持ち直しに足踏みが見られております。

このような市場環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、自動車業界における半導体の供給不足が緩和されたことによる需要回復、アルミダイカスト製品の電動自動車用部品の需要増加や為替の円安影響を受け、売上高は969億97百万円（前年同四半期比10.7%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益は40億46百万円（同121.5%増）となりました。また、経常利益は37億21百万円（同84.2%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億31百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失は23億75百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は、セグメントの売上高に含めております。

① 自動車用エンジン軸受

日本国内の当第3四半期連結累計期間の新車販売台数は、半導体の供給不足の緩和により自動車の生産台数が増えたことで前年同四半期に比べ約13%増加しました。また海外においても、半導体の供給不足が緩和された影響により需要が回復し、米国は約14%、欧州は約20%増加しました。中国は約8%増加したものの、現地の日系メーカーにおいては約19%減少しました。

そのような状況下、当社グループの国内の売上高は前年同四半期比で約7%増加し、海外では為替の影響も含め約9%増加したことから、当セグメントの売上高は前年同四半期比7.3%増収の530億53百万円、セグメント利益は同31.4%増益の66億83百万円となりました。

② 自動車用エンジン以外軸受

半導体供給不足の緩和による需要の回復を受けて自動車用部品メーカーの受注が増えたことから、当セグメントの売上高は前年同四半期比3.0%増収の153億51百万円、セグメント利益は同2.5%増益の20億48百万円となりました。

③ 非自動車用軸受

・船舶分野

2023年12月末の手持ち工事量は2,709万総トンと前年同四半期末と比べ、約25%増加しました。コンテナ船など大型船の需要の高まり、中国向け開拓の継続による受注増加やコロナ禍からの回復によるサービスパーツの好調により、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

・建設機械分野他

鉱山機械用などの需要の底堅い推移や発電機などに使われる中高速エンジン用軸受の受注増により売上高は前年同四半期に比べ大幅に増加しました。

・一般産業におけるエネルギー分野

天然ガスなどの燃料を使用した高効率な発電機ガスタービン用軸受の好調な需要、サービスパーツの受注が増えたことや、石油精製プラント向けの圧縮機用軸受の開拓などが実ったことにより、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同四半期比16.4%増収の123億33百万円、セグメント利益は同49.8%増益の22億76百万円となりました。

④ 自動車用軸受以外部品

・アルミダイカスト製品

タイの自動車業界については金利の上昇やローン審査厳格化による個人消費欲の減退により、前年同四半期に比べ、国内生産は微減しておりますが、当社においては、タイの工場（DMキャスティングテクノロジー（タイ） Co., Ltd.）における主に電動自動車用部品の需要増加などに伴い、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

・精密金属加工部品（曲げパイプ、ノックピン、NC切削品などの部品）

日米で半導体の供給不足が緩和されたことによる需要の増加や北米向け新規品のオーダー急増を受けて、売上高は前年同四半期に比べ増収となりましたが、納期対応による物流費増加の影響により、セグメント利益については前年同四半期に比べ減少しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同四半期比23.2%増収の157億33百万円、セグメント損失は17億56百万円（前年同四半期はセグメント損失16億76百万円）となりました。

⑤ その他

高温下で使われる金属系無潤滑軸受は市況の回復、開拓活動に伴う受注の増加やポンプ関連製品事業における設備投資の再開による旺盛な需要に支えられ、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート及び不動産賃貸事業等の当セグメントの売上高は前年同四半期比28.1%増収の19億99百万円、セグメント利益は同13.8%増益の3億3百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間における総資産は1,858億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ125億5百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことによります。

流動資産は1,037億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ96億55百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことによります。

固定資産は821億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億50百万円増加いたしました。これは主に、投資その他の資産が増加したことによります。

負債につきましては1,107億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ78億78百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金、長期借入金、電子記録債務が増加したことによります。

純資産は750億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億26百万円増加いたしました。これは主に為替換算調整勘定が増加したことによります。

自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.2ポイント減少し35.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、109億76百万円の収入となりました。これは主に減価償却費による収入72億84百万円、税金等調整前四半期純利益37億21百万円によります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、61億55百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出50億69百万円によります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億13百万円の支出となりました。これは主に長期借入れによる収入が75億円あった一方、長期借入金の返済による支出が55億5百万円、短期借入金の純増減額が15億41百万円減少したことによります。

以上により、当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は233億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ44億15百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の業績予想につきましては、2023年11月9日に公表した予想値に変更はありません。

なお、前提為替レートにつきましては、2023年11月9日公表時点での1USドル/145円、1ユーロ/155円を、1USドル/141.83円、1ユーロ/157.12円に変更しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,108	29,687
受取手形及び売掛金	27,266	29,928
電子記録債権	3,050	3,499
商品及び製品	16,972	16,804
仕掛品	12,925	12,068
原材料及び貯蔵品	7,110	8,887
その他	2,702	2,909
貸倒引当金	△81	△75
流動資産合計	94,054	103,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,119	16,454
機械装置及び運搬具（純額）	23,479	23,784
その他（純額）	15,922	17,407
有形固定資産合計	55,520	57,646
無形固定資産		
のれん	4,629	4,241
その他	5,880	5,528
無形固定資産合計	10,509	9,769
投資その他の資産		
投資その他の資産	13,279	14,745
貸倒引当金	△47	△48
投資その他の資産合計	13,232	14,696
固定資産合計	79,262	82,112
資産合計	173,317	185,822

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,373	10,126
電子記録債務	10,916	11,923
短期借入金	31,976	32,896
債務保証損失引当金	161	-
1年内返済予定の長期借入金	6,368	7,008
未払法人税等	592	741
賞与引当金	1,314	754
製品補償引当金	58	135
営業外電子記録債務	834	1,404
その他	8,126	8,913
流動負債合計	68,723	73,903
固定負債		
長期借入金	21,266	22,995
株式給付引当金	59	78
役員株式給付引当金	49	55
退職給付に係る負債	7,573	8,029
資産除去債務	17	17
その他	5,173	5,661
固定負債合計	34,140	36,837
負債合計	102,863	110,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,413	8,413
資本剰余金	13,114	13,114
利益剰余金	34,170	34,912
自己株式	△310	△291
株主資本合計	55,388	56,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	974	1,383
為替換算調整勘定	4,359	7,161
退職給付に係る調整累計額	414	440
その他の包括利益累計額合計	5,748	8,985
非支配株主持分	9,317	9,946
純資産合計	70,454	75,080
負債純資産合計	173,317	185,822

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	87,596	96,997
売上原価	68,177	74,413
売上総利益	19,419	22,584
販売費及び一般管理費	17,592	18,538
営業利益	1,826	4,046
営業外収益		
受取利息	62	150
受取配当金	91	189
為替差益	334	245
持分法による投資利益	118	156
その他	359	307
営業外収益合計	966	1,048
営業外費用		
支払利息	624	1,242
その他	148	130
営業外費用合計	772	1,373
経常利益	2,020	3,721
特別損失		
減損損失	1,957	-
特別損失合計	1,957	-
税金等調整前四半期純利益	62	3,721
法人税、住民税及び事業税	1,297	1,618
法人税等調整額	734	577
法人税等合計	2,031	2,196
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,969	1,525
非支配株主に帰属する四半期純利益	405	594
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,375	931

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△1,969	1,525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△220	420
為替換算調整勘定	5,847	3,183
退職給付に係る調整額	92	37
持分法適用会社に対する持分相当額	148	202
その他の包括利益合計	5,867	3,844
四半期包括利益	3,898	5,369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,808	4,168
非支配株主に係る四半期包括利益	1,090	1,201

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	62	3,721
減価償却費	7,149	7,284
減損損失	1,957	-
のれん償却額	553	580
持分法による投資損益 (△は益)	△118	△156
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△58	△10
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△772	△561
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△39	-
退職給付に係る資産負債の増減額	△18	△149
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	10	19
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	13	6
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	18	△161
受取利息及び受取配当金	△153	△339
支払利息	624	1,242
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,273	△1,620
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,715	874
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,065	1,483
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△75	141
その他の負債の増減額 (△は減少)	955	308
その他	△560	713
小計	2,492	13,376
利息及び配当金の受取額	107	307
持分法適用会社からの配当金の受取額	101	64
利息の支払額	△553	△1,220
法人税等の支払額	△2,251	△1,550
営業活動によるキャッシュ・フロー	△103	10,976

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,842	△1,934
定期預金の払戻による収入	1,579	1,063
投資有価証券の取得による支出	△447	△29
有形固定資産の取得による支出	△3,750	△5,069
有形固定資産の売却による収入	33	3
無形固定資産の取得による支出	△235	△250
貸付けによる支出	△299	△422
貸付金の回収による収入	64	326
その他	13	155
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,883	△6,155
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,149	△1,541
長期借入れによる収入	5,634	7,500
長期借入金の返済による支出	△5,528	△5,505
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△564	△440
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	142	0
配当金の支払額	△1,159	△186
非支配株主への配当金の支払額	△434	△541
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,240	△713
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,225	308
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	478	4,415
現金及び現金同等物の期首残高	18,868	18,955
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,347	23,370

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当該事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当該事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当社の連結子会社であった株式会社アジアケルメット製作所は、2023年10月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

[前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)]

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン 軸受	自動車用 エンジン 以外軸受	非自動車用 軸受	自動車用 軸受以外 部品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	48,779	14,746	10,569	12,425	86,521	1,075	87,596
セグメント間の内部 売上高又は振替高	655	164	22	342	1,186	485	1,671
計	49,435	14,911	10,592	12,768	87,707	1,560	89,268
セグメント利益 又は損失 (△)	5,085	1,998	1,519	△1,676	6,926	266	7,193

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	6,926
「その他」の区分の利益	266
セグメント間取引消去	10
全社費用 (注)	△5,376
四半期連結損益計算書の営業利益	1,826

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「自動車用軸受以外部品」事業において、一部のアルミダイカスト製品製造設備の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額1,957百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

[当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）]

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン 軸受	自動車用 エンジン 以外軸受	非自動車用 軸受	自動車用 軸受以外 部品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	52,616	15,167	12,299	15,510	95,593	1,403	96,997
セグメント間の内部 売上高又は振替高	436	183	34	222	877	595	1,473
計	53,053	15,351	12,333	15,733	96,471	1,999	98,470
セグメント利益 又は損失 (△)	6,683	2,048	2,276	△1,756	9,251	303	9,554

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	9,251
「その他」の区分の利益	303
セグメント間取引消去	△0
全社費用 (注)	△5,508
四半期連結損益計算書の営業利益	4,046

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。